

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる	-	-		
	やや良くなる	コンビニ（経営者） 衣料品専門店（経営者） その他専門店〔医薬品〕（営業担当） 通信会社（営業担当）	・タスポカード効果はまだ続く。年末年始はクリスマスケーキやその他の販促活動により売上は前年実績を上回る。 ・9月の売上は前年を上回り、客単価も若干上昇した。これは若い人の我慢が限界に達したためであり、これからは買物意識が上向く。 ・客からは職場が無くなるとか、給料の遅配があるなどの危機的状況が見られないため、景気は今が底で今後は良くなる。 ・携帯電話の新機種の発売ラッシュが年末商戦の時期に重なるため、価格よりも機能を重視する客の増加が予想され、販売増につながる。		
変わらない		一般小売店〔精肉〕（店長）	・鍋物などの秋物商材は動き始めているが、先行きに明るい兆しが見られない。		
		百貨店（営業担当）	・来客数は伸び悩み、財布のひもは例年に比べ固いまま推移する。		
		スーパー（店長）	・客の先行きに対する不安心理は今後も継続する。		
		スーパー（総務担当）	・消費者の買物態度が現状のまま続く。		
		コンビニ（店長）	・来客数の減少が気になるが、給料日以降の買物動向を見るとこれ以上は悪くならず、例年と同様に推移する。		
		衣料品専門店（総括）	・10月から電気・ガス料金の値上がりもあり、良くはならない。		
		乗用車販売店（総務担当）	・燃料の高止まりや景気不安など、先が見えにくい状況のなかで、営業マンは自信をなくしつつある。年内は新型車の投入もなく、厳しい販売状況が続く。		
		自動車備品販売店（従業員）	・客は降雪に備えるスタッドレスタイヤの購入時期をぎりぎりまで遅らせる。		
		観光型旅館（スタッフ）	・10月から翌年2月までの予約保有状況は、12月を除き前年を上回っている。11月は128%、その他の月は103～106%となっている。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・東海北陸自動車道を利用した東海地区からの昼食団体の取り込みはあるものの、低調な一般宴会と伸び悩んでいる宿泊部門では減収が予想される。全体的には低調な状態が続く。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は低迷している。		
		旅行代理店（従業員）	・燃油サーチャージの下落、急激な円高などが実現しない限り、客の海外旅行への関心は高まらない。		
		タクシー運転手	・客の節約志向は継続する。タクシー台数の過剰が続くため、厳しさは変わらない。		
		タクシー運転手	・10月以降、県知事、衆議院議員などの選挙が実施されれば、マスコミ関係が動くため多少は忙しくなるが、夜の街は相変わらず活気が出ない。		
		通信会社（社員）	・携帯電話の新サービスの提供予定がなく、販売量の増加は期待できない。		
		通信会社（営業担当）	・来客数が激減していることに加え、携帯電話業界全体が更なる料金値下げ競争を行っており、収益は悪化する。客の買物態度は極めて慎重で、財布のひもは固いまま推移し、売上も伸びない。		
		競輪場（職員）	・競輪の開催日程が詰まっているため、客の車券購入余力に限界が来る。		
		その他レジャー施設（職員）	・客単価の減少が落ち着き、また来客数の大幅減少もなく、比較的安定した状態がこのまま続く。		
		やや悪くなる		商店街（代表者）	・「お金は使わない、ガソリンは使わない」という客の態度が続く。寒くなれば、外出しない傾向が一層強まる懸念がある。
				一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・金融不安や総選挙など、国内外で明るい材料が見当たらず、景気の上向きは期待できない。
百貨店（売場主任）	・景気対策が国民の肌感じられない。また世界的な金融不安から、新富裕層の購買けん引力が地方で弱くなる。				
百貨店（営業担当）	・諸物価高騰のなかで、ファッション性の高い商品や非日常的な商品は買わないという客の態度が続く。				
百貨店（売場担当）	・来客数が前年の9割に減少しており、この先も明るさが見えない。				

	スーパー（営業担当）	・原油高、食料品の値上げなど、良くなる要素が見当たらない。年末に向かうにつれ、客は生活防衛に走り、不必要な物は買わないという態度をますます強める。	
	家電量販店（店長）	・家電の部材価格高騰により、メーカー各社が値上げを開始すると新聞報道もあり、客の買い控えがますます進む。	
	乗用車販売店（経営者）	・ディーラーの民事再生法申請や世界的金融危機に関するニュースが、客の購買意欲をそいでいる。大型・高額車両の販売はまともに影響を受けるため厳しい。	
	乗用車販売店（営業担当）	・車の販売量、来場者数の落ち込みが更に厳しくなる。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・ガソリン販売量の減少とリッター当たり粗利の縮小が重なり、全く浮かばれない状況である。	
	高級レストラン（スタッフ）	・1年で最も観光客が多い10、11月は、例年3か月以上前から団体予約が入り始めるが、今年は例年の60％程度の受注状況である。	
	一般レストラン（スタッフ）	・地元の大手企業が倒産し、中小企業に対する銀行の貸し渋りも聞こえている。10月には大型ショッピングセンターのオープンが控えているなか、倒産する企業の増加が懸念される。	
	スナック（経営者）	・世界的な不況のニュースが飛び交うなかで、客の心理も委縮し、来客数の減少が続く。	
	観光型旅館（経営者）	・例年に比べ、秋、冬の個人旅行商品の予約発生が悪い。	
	パチンコ店（店員）	・銀行、リース会社の門が閉ざされている間は、先行きが厳しい。	
	美容室（経営者）	・ここ数年、美容業界は低迷が続いているが、今回の金融危機、株価の暴落で客の財布が締め、来店サイクルが一段と長くなる懸念がある。	
	住宅販売会社（経営者）	・客の消費動向や見込み客の様子から見て、景気は悪化する。	
	住宅販売会社（従業員）	・資材価格が安定せず、先行きは読み切れない。今まで値上げを抑えてきたが、限界に近づいている。	
悪くなる	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	・衆議院議員選挙が近づいており、官公庁の予算の執行が停滞し、売上が減少する。	
	百貨店（営業担当）	・婦人客は旅行などの外出機会が少なく、はっきりした目的がないまま来店しているため、コーディネート販売が進まず、また婦人コートの販売も厳しくなる。	
	スーパー（店長）	・食品の値上げや風評被害で、非常に厳しい状況が続いているが、今後更に悪化する。	
	コンビニ（経営者）	・商圏内での公共・民間工事共に年内の工事予定が全くない。主力客層である成人男性の来店が見込めず、よほどのヒット商品がインパクトのあるイベントがない限り、売上は悪化の一途をたどる。	
	旅行代理店（従業員）	・先行きの不安感から、客は身を潜め、旅行は当面見合わせる。	
	テーマパーク（職員）	・能登半島地震の影響があった前年と比較しても、11、12月の予約状況は悪い。個人客の動きが依然として悪いことに加え、大口団体客や募集ツアーの動きも鈍く、前年割れとなる。	
	住宅販売会社（従業員）	・他社でも住宅の売れ残りが多く、今後も受注が増える状況にない。	
	住宅販売会社（従業員）	・原材料が高騰しており、企業の収益性はますます厳しい。また、物価の上昇など消費者を取り巻く環境は更に厳しくなる。	
企業動向関連	良くなる	-	
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・毎年、売上は年末にかけて受注増となるが、今年は例年より勢いがある。
		金融業（融資担当）	・物価上昇の動きがやや落ち着き、企業の動向に若干明るさが見える。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	・原材料、包装資材費、燃料費などが高値で推移しており、現状の商品構成では先行きに期待が持てない。新商品開発が急務である。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・今後の住宅関連需要に明るさがなく、現状が続く。原材料価格も一部で下がったが、全体的には値上げ基調である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・景気減速感が強まっており、消費や企業の設備投資等の低迷が続く。
		精密機械器具製造業（経営者）	・各社では来年度に向けて新商品開発に注力しているが、国内大手小売チェーン等の在庫調整の影響もあり、少なくとも年度内は現在の受注水準が続く。

		金融業（融資担当）	・株式市場の低迷、米大手証券会社の破たん、日本の政局不安定などの要因から、各企業では様子見の状況が続く。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・大手折込会社では前年に比べマイナス5～10%の間で売上が推移すると予想している。また、周辺からも売上回復の要因が見当たらない。
やや悪くなる		繊維工業（経営者）	・世界的な金融危機が消費市場に影響を与えており、先行きの不安が増大している。また原料や燃料の値上がりに加え、電気代も上がる見通しで、コストアップが経営の足を引っ張る。
		金属製品製造業（経営者）	・受注状況はやや悪化する。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・夏以前の受注の落ち込みが10月から回復すると見込んでいたが、これがずれ込み、年内は悪化のまま推移する。
		輸送業（配車担当）	・消費者心理の冷え込みから物の動きが鈍くなり、運送業の先行きは更に厳しくなる。
		輸送業（配車担当）	・運賃は若干上がったが、軽油価格の上昇分を吸収できず、利益の圧迫が続く。
		通信業（営業担当）	・売上が全く上がらない。お得な情報を提案しても、客は新たな投資に踏み切らない。
		不動産業（経営者） 司法書士	・個人客、法人客共に需要の低迷が続く。 ・貸金業者の経営悪化が中小貸金業者のみならず、準大手にも見られるため、景気はやや悪化する。
		税理士（所長）	・米国の金融危機、総選挙による政治の空白や行政の停滞などが景気に悪影響を与える。
	悪くなる		一般機械器具製造業（総務担当）
		建設業（総務担当）	・工事資材費の高止まりなどの影響から、設備計画の縮小や凍結が起き始めており、受注環境は更に厳しさを増す。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・新しい大型雇用の計画が見当たらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・企業は人の採用には慎重で、不急のものは社内でのやりくりで対応する状況が続く。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・企業は数社の派遣会社から求人募集する傾向にある。更なる人材のスキルを問われるため、契約に結び付かない。
		人材派遣会社（社員）	・各企業の労務費の削減は当面続き、雇用情勢は一段と厳しくなる。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が減少し、新規求職者数が増加していることから、有効求人倍率は低下しており、この傾向はしばらく続く。
		職業安定所（職員）	・原材料の高騰などにより、製造業を中心に持ちこたえられない企業が更に増える。
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・原油高を始めとする仕入れコスト高によって、求人広告費の抑制傾向が加速する。